



川と街を融合するエントランスと 流動の風景を創る

1. 流動の風景を創る一街と川の原風景一



『地域の原風景』の基盤を大切にする

- 線状の川と道が交錯する流動の風景
- 地域の歴史文化、治水の歴史の認識
- 天井川特有の地形がなす風景

1. 流動の風景を創る一街と川の原因風景一



『 連続性 』

川・みちの景観と歩行(視点場)の連続性を確保

旧東海道、旧街道の風景、草津川の連続性の維持

- ・ 段階的な小敷地が連続する施設配置
- ・ 高低差の解消・バリアフリー(将来の歩道橋整備)
- ・ 地形勾配を考慮した穏やかな歩道整備
- ・ 広さを考慮した歩道整備(広場を含む)

2. 誘いの風景を創る—エントランスの魅力—

『街から川への人を誘うエントランス整備』

- ・ 品格のあるエントランスを表現するデザイン
シビックプライド・品格のある施設設計
賑わいと憩いのある風景
- ・ 自然な川への連続性
駐車場への景観配慮（植栽、緑化舗装等）
俯瞰景観への配慮
- ・ ゆとりのある歩道と広場の整備
幅員のある歩道の確保、複数歩道の設置
自動車と歩行動線との整理

2. 誘いの風景を創る—エントランスの魅力—

- ・ 地域コミュニティ・観光
中心市街地との連携を意識した
積極的な市民活動の拠点
イベント利用、物産販売、駐車場利用
地域情報の発信・広報など
- ・ 安全性と防災機能
災害時での避難広場、施設対応など

3. 『しなやかな計画と実現』 - 実施と共に成長する計画

- ・ 必要性と共に成長する柔軟な整備計画
多目的利用ができる必要最低限の機能の整備（初期整備）
まちの要請に基づく中長期的整備計画
- ・ 連携協働
整備実現のための協働
（国、自治体、市民・NPO等）
関連都市との連携（栗東市）
- ・ 持続的なマネジメント・市民参加
基本的な考え方（懇談会）の設計への反映
市民が参加しやすい管理（法面における低管理の植栽等）
積極的な利用の誘導・広報等
川を社会形成の場にする



川と街を融合する エントランスと流動の風景を創る

- 1 『流動の風景』を創る ー街と川の本風景ー
- 2 『誘いの風景』を創る ーエントランスの魅力ー
3. 『しなやかな計画と協働』 --実施と共に成長する計画

地域の歴史と空間の連続性と広がりを認識し、
拠点と水辺空間の再生を図る